

読者のみなさんでつくる

みんなの 広場

「身近な出来事やイラスト」
「テーマトーク」募集中!

のそだちを たくさん飲むぞ

知り合いの珠洲市出身の方からニュースに流れない大変な状況を逐一聞いていましたが、酪農家さんのご苦労は筆舌に尽くしがたいものでした。とらいあんぐる2月号の特集は涙ながらに読ませていただきました。何もお手伝いできませんが、せめて牛乳をもう1~2杯たくさん飲もうと思っています。

金沢市 K.I

私の夢

もうすぐ2歳になる娘はクレヨンにハマリ、楽しそうにくるくる描いています。私も一緒になって描くと、「ペンギン!」「アンパンマン!」とちゃんと描いたものを当ててくれるので、調子に乗ってついつい描きすぎてしまいます。

ところが最近「何か描いて」と言わんばかりにペンを渡してくることが多くなり、自分の絵のレパートリーの少なさを痛感してきました。もっと娘に喜んでもらえるような絵が描けたらいいな、と思う今日この頃。娘との合作をいつかとらいあんぐるに載せてもらうのが夢です!

金沢市 るうばば

そうだったのか

とらいあんぐる2月号の特集「グループホーム戸板ってこんなところ!」勉強になりました。要介護の祖母が実家のある県のグループホームを利用させてもらうようになって約半年。なかなか帰省できず様子もわからない中、グループホームってこんな感じなのか♪と。保育園みたい(笑)。おばあちゃんみんなと仲良く楽しんでね。また必ず会いにいこうさけね。

金沢市 ゆゆ

どうしたらいいの!?

小学2年生の孫がゲームを持って遊びにきた。「ばあば、一緒にゲームしよう!」と誘われたけど私はゲームなんてしたことない。「ばあば、ゲームしたことないからできないわ」って言うと、優しくゆっくり丁寧に教えてくれたが、思うようにできない。苦戦

していると孫は優しく教えてくれる。それでも習得できないばあばに、目いっぱい涙を溜めて「どうやって教えれば、ばあばができるようになるかわからん!」ってポロポロ涙を流す孫がいておしくて「できなくてごめんね」と思わず抱きしめた。

加賀市 ちょこひ

大雪を楽しもう

2月に入り一気に雪が降りました。近くに住む県外からの大学生たちが大きななまくらを上手に作り、うちの孫たちも雪だるまを作っていました。この雪をこうやって楽しむのもいいのかなと若さとパワーがうらやましく感じられました。

金沢市 チッチ

その顔が見たくて

孫と一緒にチラシを見ていたら、私が注文用紙に記入したりメモしているのを見ていた孫(1歳7ヵ月)もペンと一緒に「ジージ(字を書く)」と書いていました。気が付いたら、このおたよりの用紙もジージだらけ。孫たちの好きなものやおかずを買いすぎていつも高額になってしまっていますが、喜んで食べる姿を見ると「買って良かった」と思う甘いばあばです。

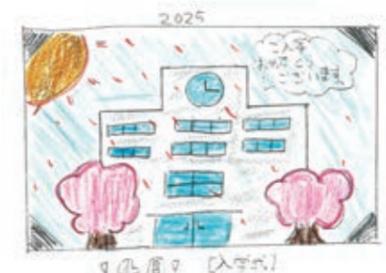
加賀市 じゅんこねーちゃん

テーマトーク 今月は 好きな方言

いつかわかる日がくる

私の好きな方言は「いかなして」です。どういたしまして、のニュアンスかなあ。まだまだ好きな方言があるんだけど孫には通じなくて困っちゃいます。

七尾市 ぶりん



能美市 くーこ(11歳)

なんて言い換えれば?

好きな、と言っていいのかわかりませんが、私にとって唯一無二の方言は、「いじっかしい」です。「いじっかしい」の気持ちをそのまま言い表すことができる言葉を、これまで何度も考えてきましたが出てきません。いじっかしいが伝わらないのもいじっかしいです。

小松市 じゃこたろう

おばあちゃんのおいね

金沢弁といえば「かたい子」「りくつな子」などと、亡き祖母が褒めてくれた言葉を思い出します。中でも私の意見などに同意してくれる時の「おいね!ほよとこと(そうね!そうなのよ)」は、また祖母の声とともに聞きたい方言です。

金沢市 モッサン

ちきないこと

しんどいという意味の奥能登の方言です。私の住んでいるところは「たいそい」と言っていて、初めて聞いた時はピンときませんでした。仕事で宇出津に勤務していた20代の頃、職場の人と話をしている時「ちきなくても」笑いながら頑張って乗り越えていました。この震災は「ちきない」と簡単に言えるところではないのですが、「ちきない」をたくさん吐き出して能登の優しさで乗り越えられるものと信じています。

中能登町 きなこ



金沢市 えつ

あべ

私は岩手県盛岡市の出身です。両親も祖父も盛岡の人で、つまり私は幼い頃から盛岡弁(いわゆるズーズー弁)のシャワーを浴びて育ちました。怒ることを「ごしやぐ」、まぶしいことを「まつっぺ」、恥ずかしいことを「おしよすい」などいろいろな盛岡弁がありました。そんな中でとりわけ私が好きだった言葉が「あべ」です。これは「一緒に行こうよ」という意味で、祖母は優しくゆっくり「あべ」と言って近くのお菓子屋さんや町医者に連れて行ってくれました。祖母は昭和の終わりに亡くなりましたが、私の心には魔法の言葉がこだましています。

小松市 風見鶏



内灘町 Y.F

おたより募集中
募集テーマは
虹

そんな中、一人、家庭の事情で3月に引越しが決まると聞いた。「コロナ禍が落ち着き、ようやくみんなで集まれるようになった矢先の出来事。残念で寂しくて仕方がない。引越し前にまた会えるだろうか。いや、たとえ会えなくても、彼女が落ち着いた頃に会いに行こう。新幹線もつながったのだから。春は別れの季節。でも、別れは決して悲しいものだけじゃない。新たな始まりの合図。そう信じて、彼女の未来を応援しよう。」

1ヵ月前から約束していた元サークル仲間とのランチ会。その日に限って、まさかの大雪予報!「どうしよう…」とメールで相談してみる。「今集まらないと、またいつ会えるかわからないよ」と皆が同じ思いで決行することにした。当日、窓から見える景色は一面の銀世界だった。除雪された道を慎重に走り無事に待ち合わせ場所へ。久しぶりに会う仲間たちとの話はいつまでも尽きない。子育ての悩み、家庭のあれこれ、そして能登半島地震で仮住まい中の仲間のこれからのこと。「うちもそつなのよ!」わかる、わかる!「なんて共感し合える時間は何よりの癒しだ。」

まど とらいあんぐる
モニターによるエッセイ
あの日、雪と、
それぞれの春
書き人 微笑がえし

くみかつレポーターによる活動報告

石川東地域協議会 「クラフト&スイーツパーティー」



くみかつレポーターの洋なしです。前半はクラフト体験として簡単にできるラッピングを作りました。これからのパレンタインやちょっとした贈り物に使えるかわいものものができました。後半はおいしいスイーツを食べながら組合員活動の紹介をしての交流タイムです。参加者の皆さんから「こんなことやるとんや〜」「参加してみたい」「このスイーツおいしいね」などいろいろお話しいただき楽しい交流ができました。

開催日 1月21日(火)
場所 金沢市のづくり会館 参加者 18名
講師 地域協議会メンバー



南加賀地域協議会 「みそ作り」



くみかつレポーターのけろっぴです。事前に準備した煮豆と煮汁を持参しいざ本番!①糀と塩を混ぜる。②煮豆をミンサーで潰す。③みそ玉を作る。④容器に③を投げ入れる。⑤蓋用の塩を入れて縛る。どれも楽しいですが特に③④!子どもたちも楽しそうでした。初参加の方には経験者がサポートし、皆さん無事にみそが出来上がりました!梅雨明け後が楽しみです。

開催日 2月7日(金)・2月8日(土)
場所 コープいしかわ 小松センター
参加者 大人29名 子ども4名

地域協議会行事の報告
「くみかつブログ」はコチラ

